

## 令和元年度 野尻湖から関川等へのコクチバス・オオクチバス逸出確認調査

長野県内水面漁場管理委員会 事務局

## 1 目的

逸出防止措置が施されている野尻湖から池尻川、農業用水路及び関川へオオクチバス、コクチバスが逸出していないか確認する。

平成 30 年 11 月 22 日の調査において、調査地点 F：関川（池尻川合流点 付近）でコクチバスが 2 尾採捕された。このことを報告した第 231 回委員会（12 月 14 日開催）で、残存個体があった場合、関川で再生産し定着する可能性があるため、通常の調査（夏・秋）を待たずに産卵期前にも調査を行った方がよいとの意見を踏まえ、令和元年度は 6 月にも調査を行う。

## 2 調査日

(1) 第 1 回目 令和元年 6 月 20 日（木） 調査地点：A～H

## 3 調査地点（図 1 参照）

地点	水系	水域の詳細	備考
A	池尻川	逸出防止装置施設 下流	
B	御小屋用水	同上	野尻土地改良区 所管
C	小丸山用水	同上	同上
D	池尻川	赤川合流点 上流	北信漁協 管内
E	池尻川	関川合流点 上流	北信漁協 管内
F	関川	池尻川合流点 付近	関川水系漁協管内
G	関川	国道 18 号の橋 付近	関川水系漁協管内
H	関川	池尻川発電所調整池からの 流出水合流点	関川水系漁協管内

## 4 調査方法

採捕には電気ショッカーを用いた。パルス、電圧は調査水域の状況によって適宜調整し、特に稚魚の採捕に留意して調査を行った。

## 5 調査機関

(1) 第 1 回目調査

調査地点 A から C の調査は北信漁業協同組合 1 名及び野尻湖漁業協同組合 1 名の立ち会い、調査地点 D 及び E の調査は北信漁業協同組合 1 名の立ち会いのもと、長野県水産試験場 2 名及び長野県内水面漁場管理委員会事務局（長野県農政部園芸畜産課水産係）2 名の計 4 名で行った。調査地点 F から H の調査は関川水系漁業協同組合 1 名の立ち会いのもと、長野県水産試験場及び長野県内水面漁場管理委員会事務局（長野県農政部園芸

畜産課水産係) の 4 名に新潟県農林水産部水産課 2 名を加えた計 6 名で行った。

6 採捕状況

A : 池尻川 (逸出防止装置施設 装置 1 と装置 2 の間 監視場所 1)

魚 種	第 1 回目 (6 月 20 日) 水温 18.5℃		備 考
	個体数	全長範囲 cm	
			採捕個体なし

A : 池尻川 (逸出防止装置施設 装置 2 と装置 3 の間 監視場所 2)

魚 種	第 1 回目 (6 月 20 日)		備 考
	個体数	全長範囲 cm	
			採捕個体なし

A : 池尻川 (逸出防止装置施設 装置 3 下流 監視場所 3)

魚 種	第 1 回目 (6 月 20 日)		備 考
	個体数	全長範囲 cm	
コクチバス	1	14.5	
コイ	1	10.2	
ドジョウ	7	7.0~10.0	
シマドジョウ	9	5.8~7.4	
ヨシノボリ	11	3.6~5.5	
スナヤツメ	1	14.9	

B : 御小屋用水 (逸出防止装置施設 装置 1 と装置 2 の間 監視場所 1)

魚 種	第 1 回目 (6 月 20 日) 水温 19.0℃		備 考
	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	4	3.2~6.2	

B : 御小屋用水 (逸出防止装置施設 装置 2 と装置 3 の間 監視場所 2)

魚 種	第 1 回目 (6 月 20 日)		備 考
	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	2	3.2~4.5	

B : 御小屋用水 (逸出防止装置施設 装置 3 下流 監視場所 3)

魚 種	第 1 回目 (6 月 20 日)		備 考
	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	14	3.2~4.4	

C : 小丸山用水 (逸出防止装置施設 装置 1 と装置 2 の間 監視場所 1)

魚 種	第 1 回目 (6 月 20 日) 水温 19.0℃		備 考
	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	10	3.3~4.2	

C：小丸山用水（逸出防止装置施設 装置2と装置3の間 監視場所2）

魚種	第1回目（6月20日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	1	3.7	

C：小丸山用水（逸出防止装置施設 装置3下流 監視場所3）

魚種	第1回目（6月20日）		備考
	個体数	全長範囲 cm	
ヨシノボリ	2	3.7～4.3	

D：池尻川（赤川合流点 上流）

魚種	第1回目（6月20日）水温 20.7℃		備考
	個体数	全長範囲 cm	
アブラハヤ	5	6.8～10.8	
ドジョウ	1	8.2	
シマドジョウ	6	7.0～10.5	
ヨシノボリ	4	3.6～4.6	

E：池尻川（関川合流点 上流）

魚種	第1回目（6月20日）16.0℃		備考
	個体数	全長範囲 cm	
			採捕個体なし

F：関川（池尻川合流点 付近）

魚種	第1回目（6月20日）15.6℃		備考
	個体数	全長範囲 cm	
イワナ	7	6.0～26.6	
アブラハヤ	1	10.2	

G～H：関川（国道18号の橋～池尻川発電所調整池からの流出水合流点付近）

魚種	第1回目（6月20日）水温 12.9℃		備考
	個体数	全長範囲 cm	
イワナ	3	17.5～21.0	

7 考察

今回の調査で池尻川の調査地点Aの監視場所3（逸出防止装置施設の直下）で、コクチバス1尾が採捕された（写真）。逸出防止装置の網は野尻湖漁業協同組合がごみの除去等の管理をしており、管理時にごみと一緒に逸出した可能性が考えられる。通常、調査地点Aの水量は水門の隙間から漏出する水が少量流れているのみで、逸出した個体が長期間生息できる環境ではないため、最近逸出したものと考えられる。

下流の池尻川D、E及び関川F～Hではコクチバスは採捕されなかったこと、また、当

日の水温から産卵期を過ぎたものと考えられる地点A～D、産卵が始まる水温であるE及びFでは目視においてもコクチバスの稚魚や産卵床は確認されなかったこと、Gについては産卵する水温より低いことから調査区域でコクチバスは再生産していないと考えられる。

## 8 対応

装置管理時にコクチバスが逸出することがないように細心の注意を払って作業するとともに、逸出魚を速やか捕獲できるよう電気ショッカーを使った監視を適切に実施するよう野尻湖漁協に要請した。

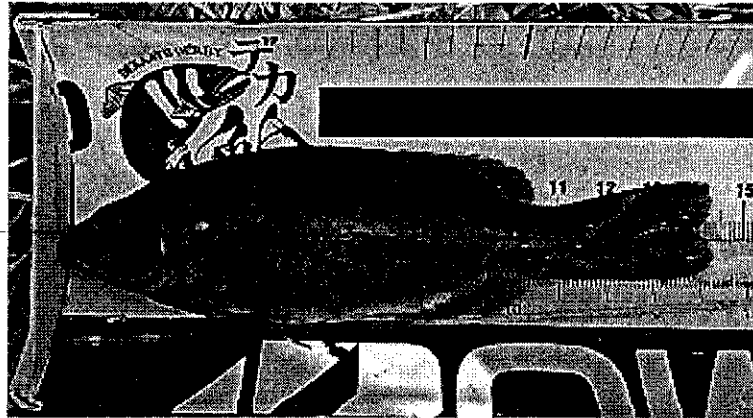
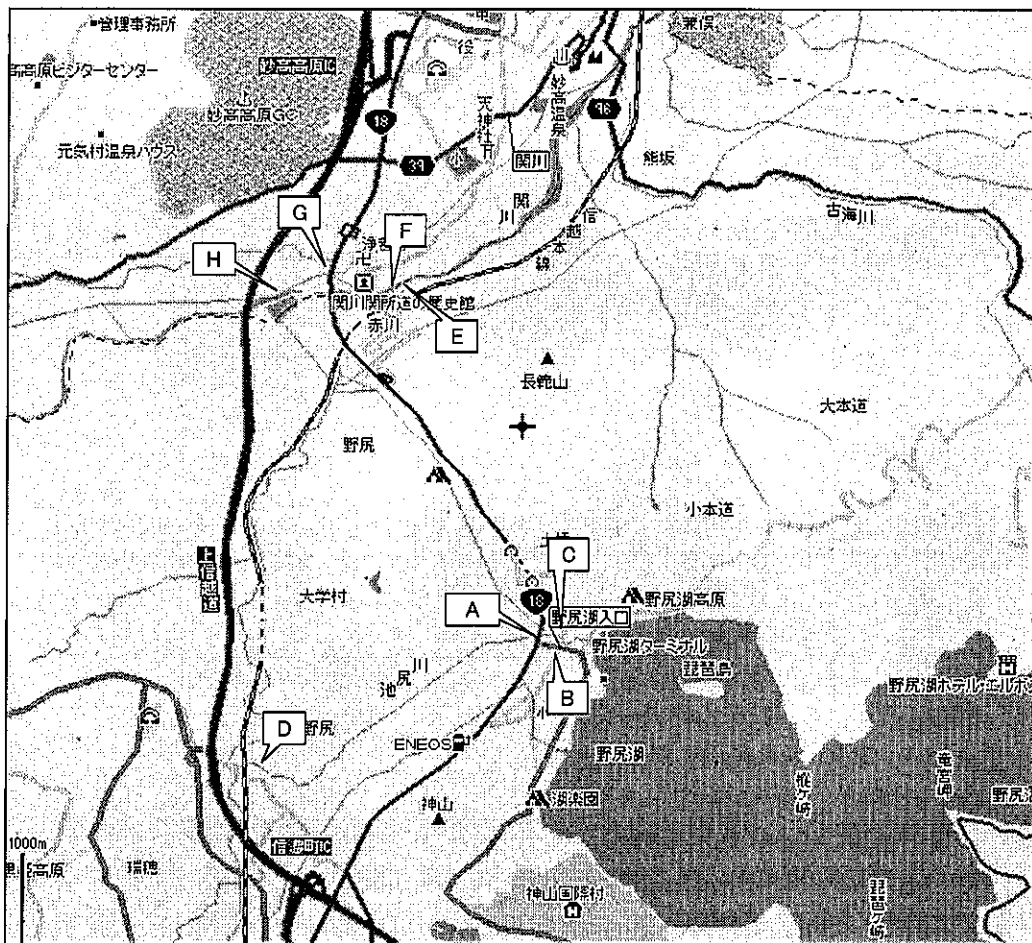


写真 地点Aで採捕したコクチバス

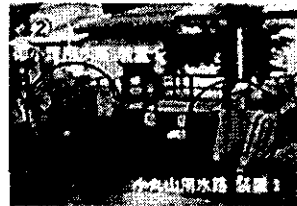


【図1 調査地点地図】

# 逸出防止施設等の概要



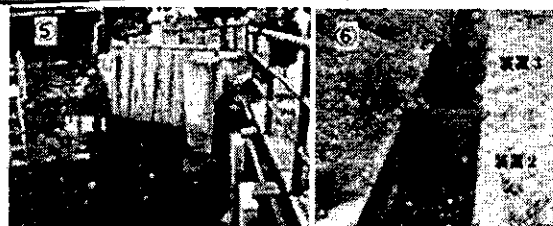
野尻湖からの取水路



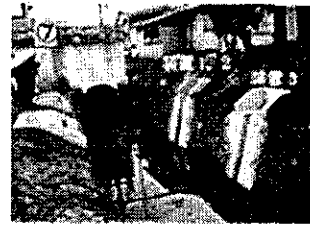
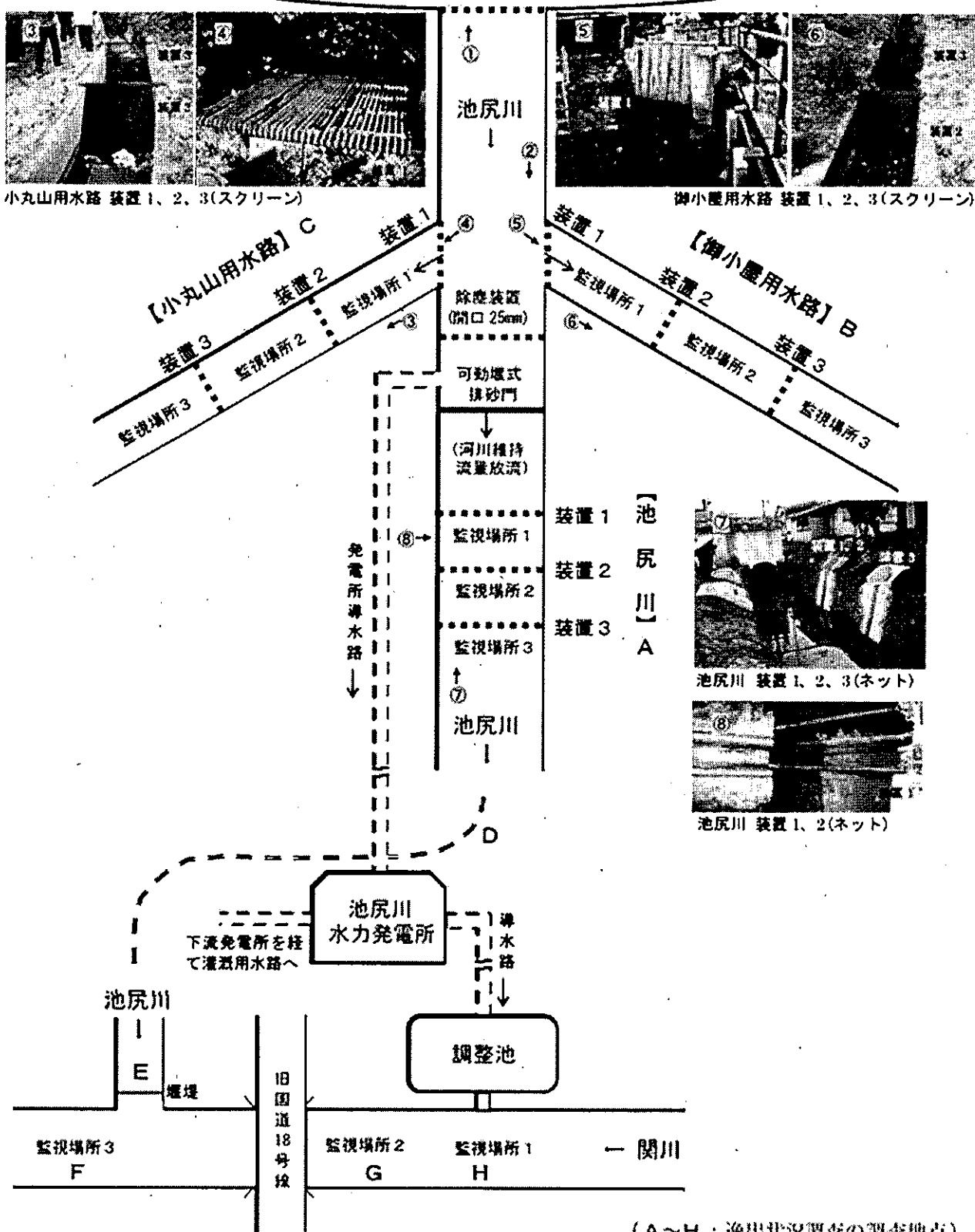
池尻川からの取水口



小丸山用水路 装置 1、2、3(スクリーン)



御小園用水路 装置 1、2、3(スクリーン)



池尻川 装置 1、2、3(ネット)



池尻川 装置 1、2(ネット)

(A~H : 逸出状況調査の調査地点)

